

A world map is centered in the background, rendered in a light blue color. The map is overlaid on a dark blue background with a grid of white lines. Scattered throughout the grid are various numbers in a light blue color, including '65', '36', '9872', '319', '6895', '321368', and '35872'.

# ウインテスト株式会社

2015年7月期

## 決算説明会

2015年9月17日

(東証第二部 6721)

# アジェンダ

## 会社概要

2015年7月期 決算概要

2016年7月期 通期業績予想

今後の経営戦略

# 経営理念

- SOI(システム・オン・インシュレータ)、SOC(システム・オン・チップ)のイメージセンサとディスプレイ分野で人の目に代わる定量化を行い、真の完全自動検査装置を提供し、社会へ貢献します。
  - ▶▶ 目視検査を自動化し、人的リソースを軽減します。
- 「環境と人に優しい開発・設計への挑戦」を掲げ、努力の結晶を環境と人へと恩返しをします。
  - ▶▶ ISO14001に則った環境管理システムに基づく開発・生産を推進します。

# 当社の業界におけるポジション

## ● 独自の検査技術を20年以上にわたり開発

### ▶▶ LCDドライバーIC検査

(スマートフォンやテレビなど液晶ディスプレイを駆動するためのICです)

研究開発 → 量産導入評価 → 量産導入(市場シェア数%に成長)

### ▶▶ イメージセンサ、液晶・有機ELディスプレイ検査

一眼レフ用や衛星搭載用センサーなどハイエンド

中国上海のイメージセンサー研究開発機関へ納入、将来的には量産化

日本メーカーによる液晶プロジェクターの市場増加

### ▶▶ ミックスドシグナルIC、パワー半導体(インバータIC)

世界のマーケットは伸びているが当社顧客の設備投資が控えられている

影響が大きい、新規顧客の開拓が難しい市場



# 主要製品開発の歩み



ディスプレイ



イメージセンサー



パワー半導体  
バーンインへ

1993年	ウインテスト有限会社設立
1997年	 モバイルLCD、プロジェクター用LCD検査装置を開発、販売  CCD検査装置を開発、販売
2001年	 有機EL検査装置を開発、販売  台湾メーカーよりLCD検査装置を受注
2003年	東証マザーズに株式公開  新製品 CMOSイメージセンサ検査装置 WTS-311を開発、販売  韓国メーカーよりCCD検査装置を受注
2005年	 韓国メーカーより有機EL検査装置を受注
2006年	 新製品 ミックスドシグナルIC検査装置WTS-700を開発、販売
2008年	株式会社タカトリに第三者割り当て増資、業務提携
2009年	 LCDドライバーIC検査装置WTS-577の開発、販売
2010年	 新製品 ミックスドパワーIC検査装置WTS-750を開発、販売開始
2011年	 新製品CMOSイメージセンサ検査装置WTS--377、311NXを開発、販売
2013年	 LCDドライバーIC検査装置WTS-577の大量受注、納入開始
2014年	 モニターバーンイン装置開発、販売開始
2014年	東京証券取引所 市場第二部への上場市場変更(14年12月)

# 当社事業の特徴

## ● 製造をアウトソースする

### 開発集中型のファブレスメーカー

- ▶▶▶ 顧客要望を満たす製品開発へ集中
- ▶▶▶ 需要の変化が激しい半導体市場に応じた経営
- ▶▶▶ 資金の固定化を抑制して財務の柔軟性を確保

お客様  
約30社

協力会社  
約35社

研究開発

 **Wintest Corp.**  
ウインテスト株式会社

アウトソース

ニーズ

製品

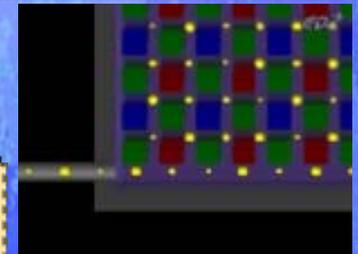
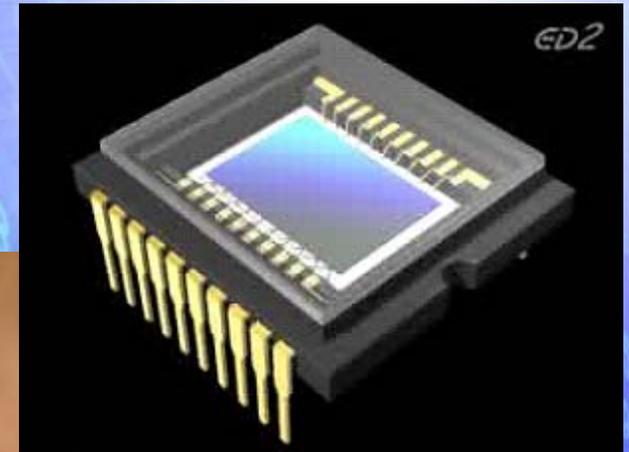
製品

製造

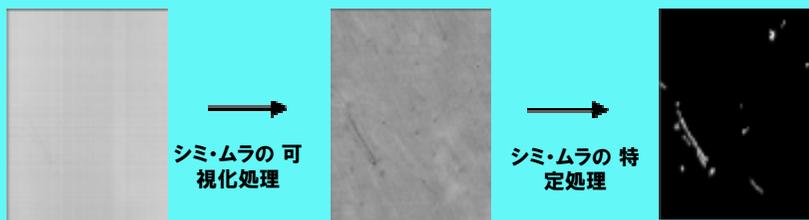


# 技術面の特徴 ①

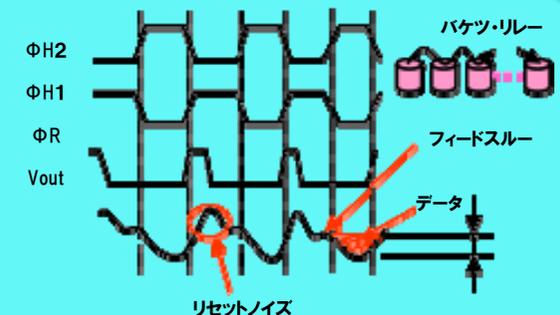
- **高度な画像処理により、**  
人の目にとって代わる検査を可能に
  - 目視検査を自動化
  - シミ・ムラも自動検出



画素からの微小電圧を画像化、高度な処理でムラ検出



微小信号を画素の配列に配置



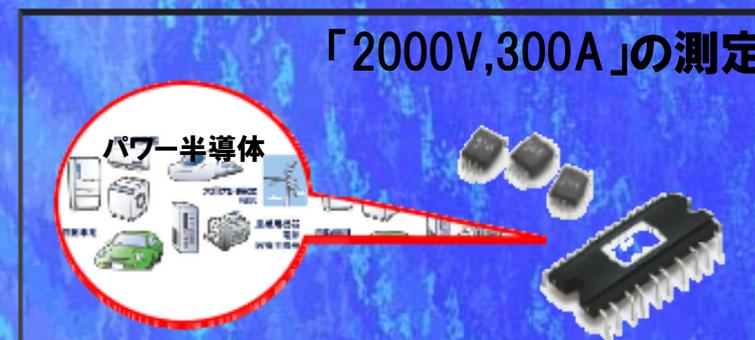
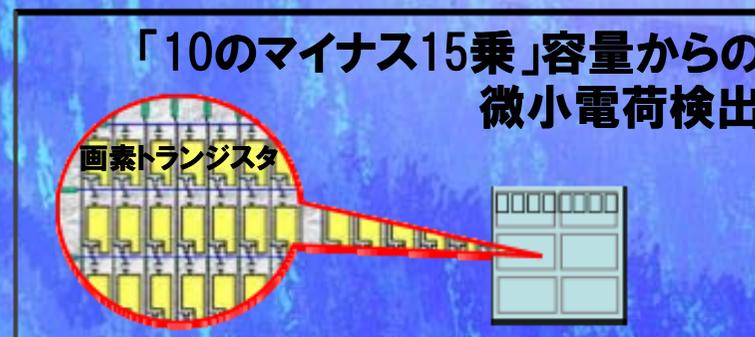
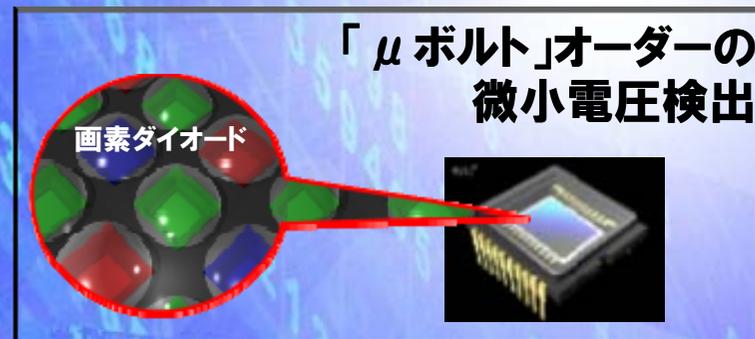
# 技術面の特徴 ②

● 微小、強大分野に特化し、  
広範囲な電流・電圧を検出

▶▶▶ 微小電流・電圧  
イメージセンサー  
LCDドライバーIC

▶▶▶ 微小容量・電荷  
フラットパネルディスプレイ

▶▶▶ 高電圧・大電流  
ミックストシグナルIC、パワー半導体



## 技術面の特徴 ③

- 独自の**非同期検査技術**により、  
複数台分の検査装置を1台で検査
  - 製品Aや製品B,Cを同時に同期せずとも検査
  - 量産用検査＋開発用実験を同時動作
  - ハイ・コストパフォーマンス、省フロアスペース

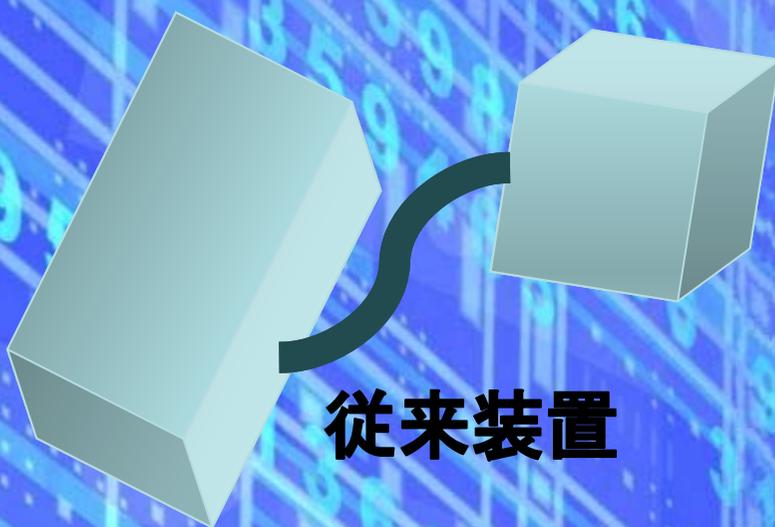


機能・スペースを集約  
検査条件を自在に設定



## 技術面の特徴 ④

- **使いやすいマイクロソフトのWindowsが使える装置**  
**多数の分散プロセッサによる処理で高速検査**
- ▶▶ **ユーザーに圧倒的に使いやすい環境**
- ▶▶ **複数のLCD検査ボード内で高速演算により高速処理**
- ▶▶ **ロー・コスト、省フロアスペース**



省電力・スペース



当社装置

# 当社製品のご採用事例

## ● 開発・量産用検査装置ご採用の事例

### ▶▶ CCD/CMOSイメージセンサー分野

一眼レフ関係のイメージセンサーやハイエンドの衛星用センサーなど

### ▶▶ ミックスドシグナルIC、パワー半導体分野

エアコンや車載用のインバーターICや照明用LEDなど

### ▶▶ フラットパネルディスプレイ、ドライバーIC分野

スマートフォン用ディスプレイのドライバーや液晶プロジェクター用表示素子など



# 2015年7月期 決算概要

# 2015年7月期 決算ハイライト

- 海外向け売上金額・比率は前期比で増加するも、来期への期ずれ案件あり伸び悩む

## P/L

- ・ スマホ需要でLCDドライバーIC検査装置の海外売上は前期比増で堅調、イメージセンサ検査装置の輸出実績もあり、更に海外市場への営業に注力
- ・ 一方、デジカメ市場縮小等で国内の検査装置需要は弱く、売上は低迷
- ・ 前期と比べ利幅のあるシステム売上構成になる等により、利益率は改善

## B/S・C/F

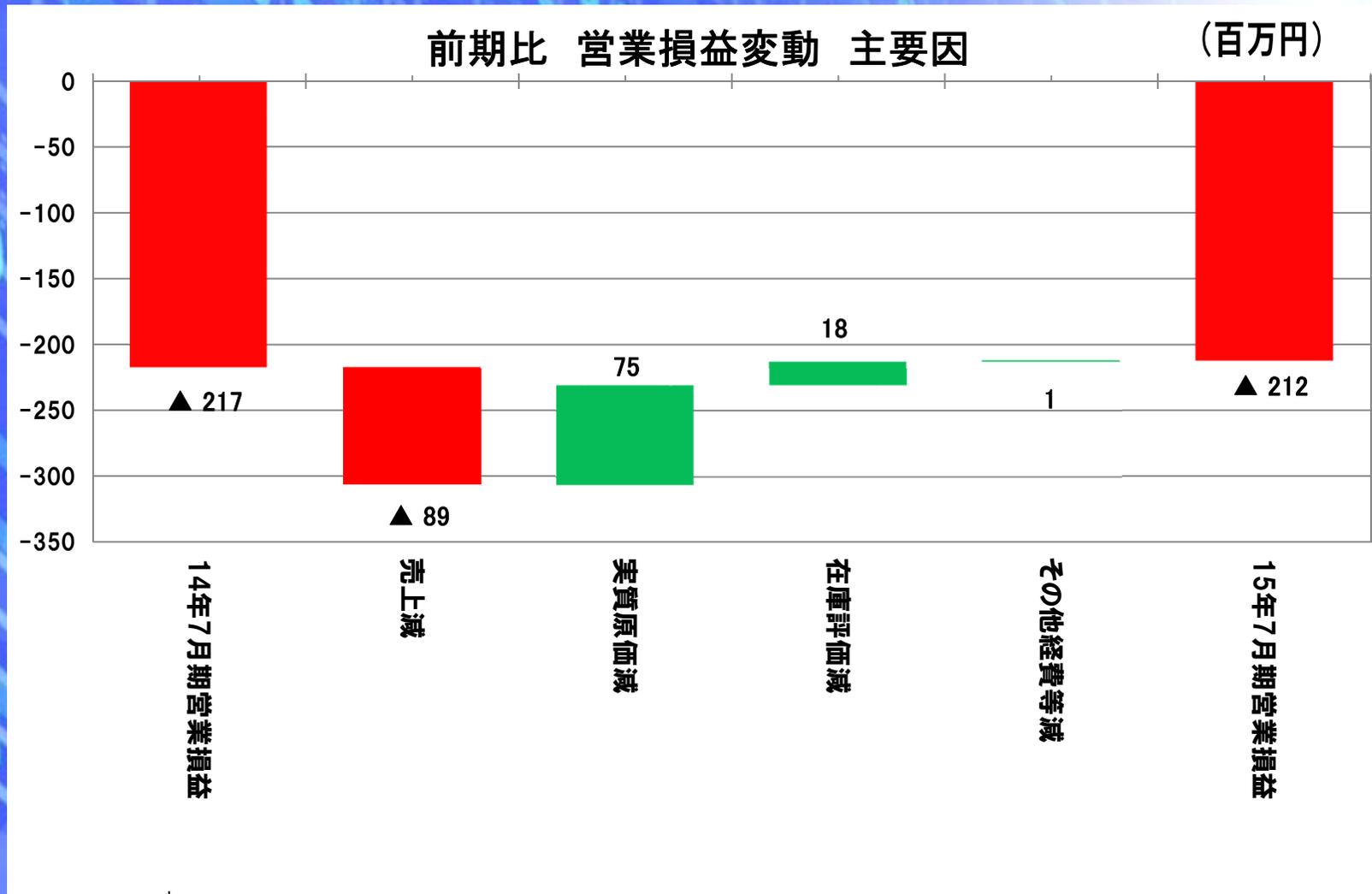
- ・ 純資産は純損失あるも新株予約権行使により増加し、総資産も現預金増により増
- ・ 営業CFは、売上債権回収、仕掛品の納品等で増加したが、損失をカバーできず28百万円のマイナス
- ・ 財務CFは新株予約権行使339百万円によりプラスとなり、今後の運転資金・研究開発のための現金預金残高は6億円弱に増加。自己資本比率81.5%に上昇

# 2015年7月期 決算サマリ

(百万円)

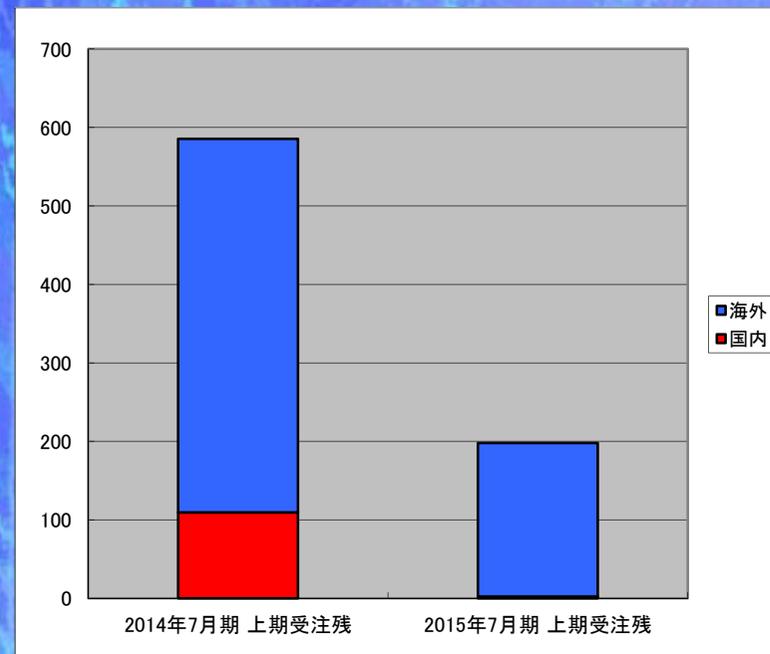
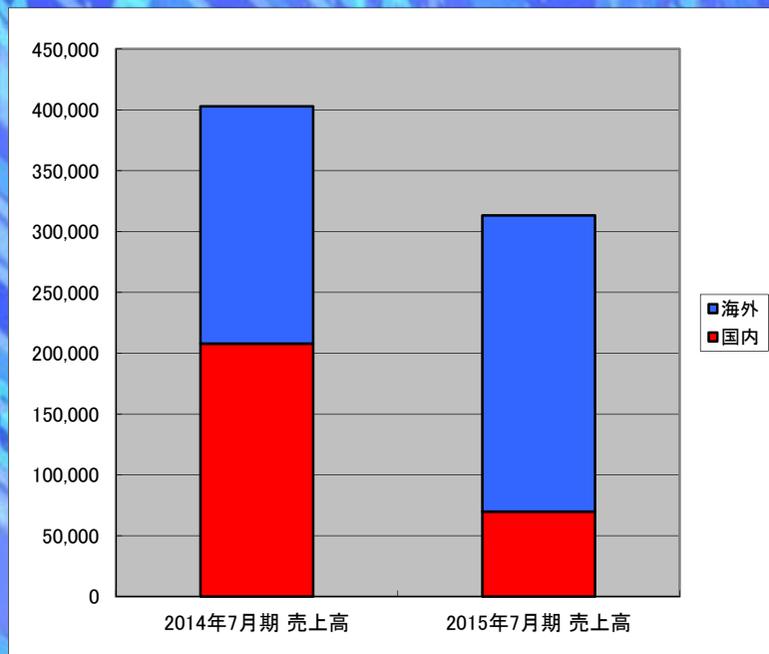
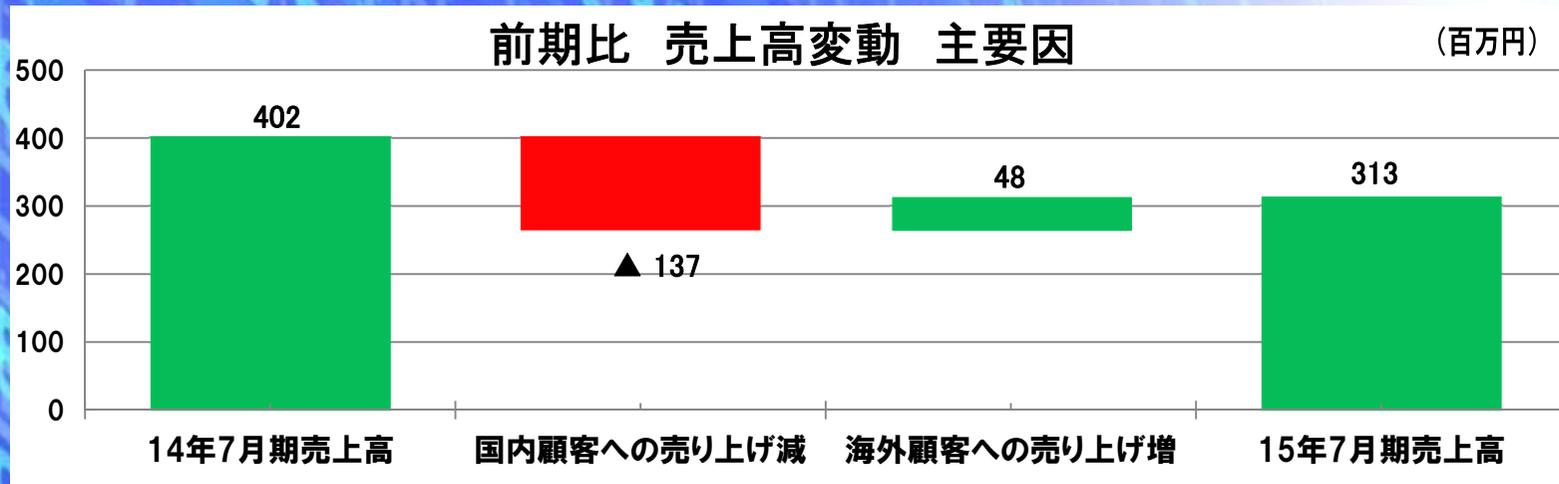
	14/7月期	15/ 7月期	増減額	増減率	主な増減理由
売上高	402	313	△89	△22.3%	見込んでた海外出荷分の調整に 手間取り、売上が伸び悩む
売上総利益	116	120	4	3.3%	在庫評価減が16百万円に減少
売上総利益率	28.9%	38.4%	-	9.5%	利幅の良いシステム売上構成へ
販管費	333	332	△1	△0.4%	試験研究費19百万円増加、人 件費ほかを引き続き抑制
営業利益	△ 217	△ 212	5	-	
経常利益	△ 212	△ 200	12	-	県ものづくり補助金10百万円計 上
当期純利益	△ 214	△ 201	13	-	

# 営業損益増減要因分析



+5

# 売上高・受注残高変動分析

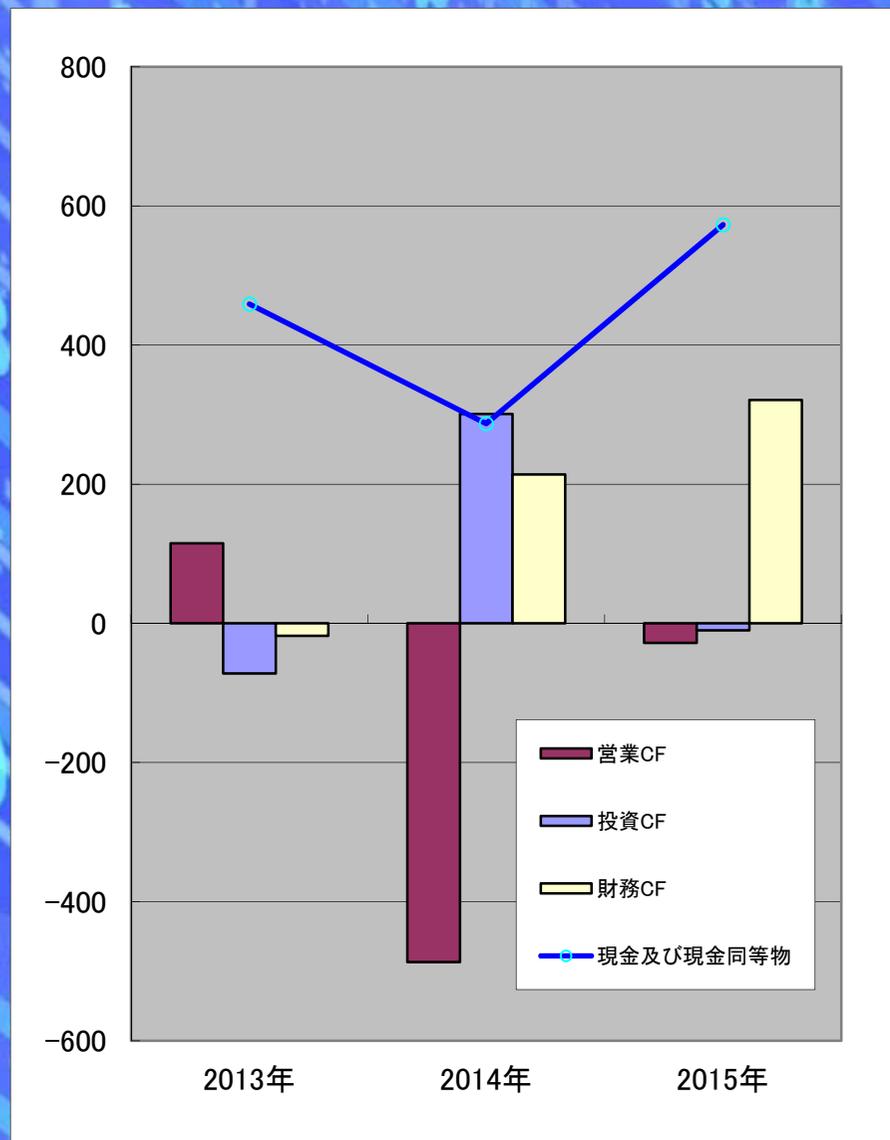


# 2015年7月期 貸借対照表サマリ

(百万円)

		14/7月期	15/7月期	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	287	573	286	新株予約権行使と売掛、仕掛品減
	受取手形及び売掛金	177	26	△150	順調な売掛金の期日回収
	仕掛品	252	177	△75	海外受注先向けに納品進む
	その他流動資産	54	84	30	製品の貸出追加1台24百万円増
	固定資産	40	47	7	減価償却進む
資産合計		811	909	98	
負債・純資産内訳	買掛金	18	0.2	△18	
	1年以内返済長期借入	18	88	70	長期借入70百万円が期日1年以内
	その他流動負債	23	20	△3	前期末売上の製品保証引当金減少
	固定負債	145	56	△89	短期借入にシフトと約定返済で減少
	純資産	605	744	138	純損失計上も新株予約権行使で増
負債・純資産合計		811	909	98	

# 2015年7月期 CF計算書サマリ



	14/7月期	15/7月期
営業CF	△487	△28
投資CF	301	△10
財務CF	214	321
現金及び預金	287	573

## キャッシュ・フロー推移

### ・営業CF

税前純損失	△200
売上債権減	150
棚卸資産減	50

### ・投資CF

固定資産取得(デモ機)	△10
-------------	-----

### ・財務CF

新株予約権行使	339
長期借入金返済	△18



# 2016年7月期 通期業績予想

# 2016年7月期 通期事業環境見通し

● 円安背景に国内設備投資上向き気配も様子見続く、台湾中国での設備投資活況

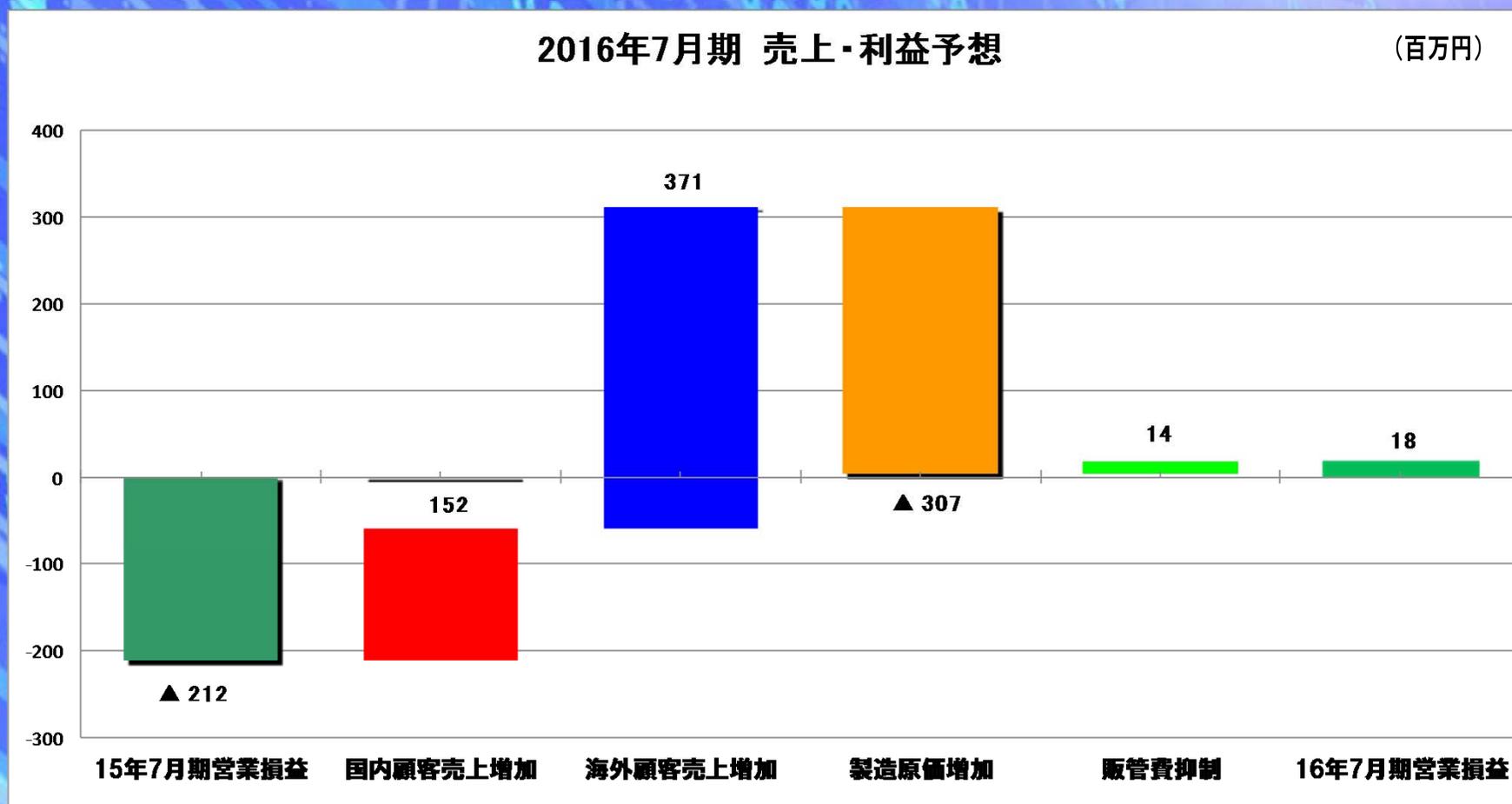
<b>外部環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ全体出荷台数は軒並み2ケタ減、しかしデジタルカメラ大手7社、円安に加え、一眼レフなど高付加価値品へのシフトで内5社の損益は改善の兆し。医療など新分野に活路を見いだす動きはあるものの積極的設備投資に向かず。</li> <li>・台湾、中国各社、2015年～16年の新興市場のスマホ、タブレット需要ペースは4Qに向かい鈍るものの金額、数量ベース共に今後も伸びる。当社注力のLCDドライバ製品は大幅拡充の見込み。</li> <li>・WSTS発表、2015年の世界半導体市場は安定成長+3.2%。その後、2016年+3.4%、2017年は+3.8%と成長が継続。日本の半導体前年比+2.0%、16年+1.8%、そして17年は+1.5%と精彩に欠けるとの予測、設備投資の主流が台湾中国方面へシフトの流がより鮮明に。</li> </ul>	
<b>個別環境</b>	イメージセンサー	デジカメ市場14年に続き縮小、スマホがデジカメ市場を侵食 <ul style="list-style-type: none"> <li>・CIPAの予測、15年のカメラの総出荷台数は前年比更に20%減。一方車載はセーフティ関連の法制化を追い風に、また監視センサー向けで続伸を予測。</li> </ul>
	アナログパワーIC	パワー半導体は、車載関連、新エネルギー向けで緩やかに上昇 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ブレーキ等、車載部品が牽引、省エネ関連、代替エネルギー追い風</li> </ul>
	液晶ドライバー	スマホ関連市場鈍化もインドを巻き込み数量は増加、高級志向追い風 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な製造拠点である、台湾・中国での設備投資より活発に推移</li> </ul>

2016年7月期は、国内の設備投資需要は緩やかに回復も、様子見の感強し、活況を呈する中国台湾のスマホ、タブレット等向けIC需要拡大に向けて台湾中国への営業活動を更に強化、大型リピートの獲得、新顧客の開拓を行い黒字化を達成する方針である。

# 2016年7月期 通期業績予想

● 海外設備投資堅調、国内はデジカメ市場縮小等で国内の検査装置需要は弱含みとなるも利幅のある部分に集中、海外国内で売上高837百万円を計画

▶▶ 海外は特に伸長中のディスプレイ周辺IC関連分野に注力



# ご 注 意

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があります。

この将来数値に全面的に依拠して投資判断を行うことは差し控えていただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ先

ウインテスト株式会社

TEL:045-317-7888

E-mail:wintestir-info@wintest.co.jp